

第2回第10採択地区教科用図書採択協議会

開催年月日	平成27年7月14日（火）	
開催場所	ふじみ野市ゆめぼると多目的ホール	
開催時間	10:00 ～ 15:00	
教育委員会	出席者	
富士見市	小野寺 巧 教育委員長	森元 州 教育長
坂戸市	吉本 祐一 教育委員長	島田 知良 教育長
鶴ヶ島市	石澤 良浩 教育委員長	浅子 藤郎 教育長
ふじみ野市	富田 信太郎 教育委員	朝倉 孝 教育長
三芳町	松本 長治 教育委員長	桑原 孝昭 教育長
毛呂山町	村本 洋 教育委員長	栗田 博 教育長
越生町	浅見 登 教育委員長	吉澤 勝 教育長
	事務局	
	教育部長	中野 則之
	副参事兼学校教育課長	三宅 雅生
	学校教育課主幹兼学校管理係長	山崎 直樹
	学校教育課指導係長	星野 和久
	学校教育課指導主事	鈴木 達也
会議状況		
第10採択地区教科用図書採択協議会 第2回採択協議会 1 開会 2 あいさつ	（司会）ふじみ野市教育委員会副参事兼学校教育課長 三宅 雅生 （出席者）上記 （司会） おはようございます。ふじみ野市教育委員会副参事兼学校教育課長、三宅 でございます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 ただ今より、第2回第10採択地区教科用図書採択協議会を開催します。な お、本会議は議事録を作成いたしますので、録音をさせていただきますこと をあらかじめ御承知おきいただきますようお願い申し上げます。 （司会） はじめに、第10採択地区教科用図書採択協議会 朝倉 孝会長より、ごあ いさつ申し上げます。 （ふじみ野市教育委員会 朝倉 孝 教育長） 皆様、おはようございます。本日はご多用中にもかかわらず、ご出	

	<p>席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本協議会が設置されましてから約3ヶ月が経過いたしました。この間、各教科・種目ごとの専門員による調査・研究や教科書展示会が行なわれました。教科用図書について、さらに研鑽をつんでいただくためにこの第2回研修会を開催することとなりました。この間、各専門員による教科書研究も進み、委員の皆様方におかれましても、それぞれの教育委員会や展示会等で、教科用図書の研究を進めていただいたことと存じます。</p> <p>本日は、平成28年度から4年間使用する中学校用教科用図書の専門員による研究結果が報告される重要な会議でございます。</p> <p>本日の会議は長時間にわたりますが、各委員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、慎重かつ円滑に進められますようお願い申し上げます、あいさつといたします。</p>
<p>3 本日の日程と、会議の公開・非公開について</p>	<p>(司会) 次に、本日の日程について、事務局より申し上げます。</p> <p>(事務局) ふじみ野市教育委員会学校教育課 鈴木でございます。お手元の次第をご覧いただきたいと存じます。この後、朝倉会長に議長をお務めいただきます。協議会の日程ですが、中学校15種目の教科用図書について、各専門員代表者より報告をしていただきます。報告の順番につきましては、次第の通りでございます。報告の後に、各種目ごとに、代表者への質疑、応答を行います。以上でございます。</p> <p>(司会) それでは、これより、議長を 朝倉 孝 会長にお願いいたします。</p> <p>[議長] 第10採択地区教科用図書採択協議会要綱の規定により、本日の議長を務めさせていただきます。協議が慎重、円滑にに進められるよう、ご協力をお願いします。</p> <p>まず、協議に入る前に、本会議につきまして、非公開とすべき項目について、協議をお願いします。</p> <p>[議長] このことについて、事務局より提案はありますか。</p> <p>(事務局) 本協議会、要綱の第11条には、協議会の公開について、「協議会は、公開とする。ただし、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。」と定められております。</p> <p>原則、協議会は公開であります。教科書採択につきましては、適正かつ公正であることが必要となります。本日の専門員の教科用図書研究結果の報告及び質疑応答につきましては、7月27日の第3回採択協議会における教科用図書選定の前に、会議の公開で協議内容や専門員が明らかに</p>

<p>4 専門員の教科用図書研究結果の報告及び質疑応答について</p>	<p>なることで、外部からの働きかけにより、採択の適正・公正の確保に関しまして、問題があるなどの懸念がされますので、非公開とすることを提案するものでございます。</p> <p>[議長] 事務局から、専門員の教科用図書研究結果の報告及び質疑応答につきまして、第3回採択協議会の選定前に、専門員に対する外部からの働きかけにより、採択の適正・公正の確保に関しまして、問題が発生する恐れがあることから、「非公開」とすべきであるの提案がありました。 このことについて、ご意見はございますか。</p> <p>(委員) 事務局案のとおり。</p> <p>[議長] 今、事務局案のとおりとありました。それでは専門員の教科用図書研究結果の報告及び質疑応答について、第10採択地区教科用図書採択協議会は非公開とさせていただくということによろしいでしょうか。</p> <p>(委員) 賛成</p> <p>[議長] 全員から、専門員の教科用図書研究結果の報告につきましては、非公開と言う意見をいただきましたので、非公開とさせていただきます。</p> <p>[議長] それでは、大変申し訳ありませんが、傍聴者の皆様は係の者の誘導に従い、ご退席をお願いいたします。</p> <p>[議長] それでは、国語、専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 国語について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) 国語科の専門員を代表して、調査研究の報告をいたします。国語科では5社について、調査研究を行いました。その結果につきましては、県から示された調査資料の様式に則りまとめましたお手元の報告書のとおりです。 それでは、「東京書籍」について調査研究結果をご報告申し上げます。はじめに「総括」部分についてご説明いたします。巻頭や巻末、単元の中に3年間の学習内容の関連が示され、生徒自身が見通しをもって学習でき</p>
-------------------------------------	--

るようになっていきます。

また、各学習材で身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能が「言葉の力」として明示され、段階的に積み上げる課題設定がされています。

次に、「特色」について、主なものをご説明いたします。

はじめに、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫についてですが、論理的・創造的に考え、表現する力を育成できるように、活動過程の具体例や完成作品例が示されています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「領域別学習材一覧」に学習目標やその学習材で身につけたい「言葉の力」を示すことで、生徒の学ぶ意欲を高める工夫をしています。

次に、「学校図書」についてご説明いたします。はじめに「総括」ですが、単元ごとに設定された「ついた力を確かめよう」において、学習の成果を確認できるようになっています。

また、基礎的・基本的な知識・技能を段階的に習得できるよう単元の教材構成が工夫されていたり、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」の関連を図るためにコラム「活動を考える」を導入的に設けられたりしています。

主な「特色」ですが、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫については、教材の最後にある「学びの窓」で、読解の力をつけるために、読み深めるための小発問や交流など多様な学習活動が提示されています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材において「学習の見通し」が示され、生徒が主体的に学習が進められるよう工夫されています。

次に、「三省堂」についてです。「総括」ですが、バリアフリーや漫画、アニメ、落語などから紐解く文化論など、生徒が興味をもちそうな教材が取り上げられ、読書においても各学年50冊以上の推薦図書が示されています。

また、巻頭の部分に領域別教材一覧が示され、教材ごとに付けさせたい力が明示されています。

主な「特色」として、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫についてですが、「学びの道しるべ」では、分かりやすい言葉で学習の視点が示され、何を目標にして学びを深めていくのかが明確になっています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、写真や図が多く取り入れられた構成になっており、学習内容の理解を補助する役割を果たしています。

次に「教育出版」についてご説明いたします。はじめに「総括」についてです。3年間の学習の系統性を考え、1年生は中学への導入単元が、3年生には送り出し単元が設定されています。

また、各領域とも幅広い言語活動を通して、基礎的・基本的な能力や思考力・判断力・表現力を育成することができるように、系統的な単元構成・内容となっています。

「特色」ですが、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫について、学習のポイントをまとめたコラム「ここが大事」が設定されていたり、表現領域や言語教材との関連、関連図書の紹介を示したりする工夫がされています。

また、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「学習の手引き（みちしるべ）や「学びのチャレンジ」により、見通しをもって学習を進めたり、学習を振り返り、活用力を高めるために様々な言語活動に取り組んだりできるようになっています。

「光村図書」についてご説明いたします。「総括」ですが、音声表現や他教科や総合的な学習の時間でのレポート作成等との連携を意識した単元構成になっています。

また、「学習のための用語一覧」や「次へつなげよう」などで各学年に応じた学習内容やつきたい力が明確に示されています。

主な「特色」ですが、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習において、学び合いの活動が設けられ、伝え合う力が身につけられるようになっています。

また、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「目標」や「学習の窓」に加えて、「学習を振り返る」の項目が加えられ、見通しをもって学習に取り組むとともに、学習後の達成感を得やすい工夫がされています。以上で説明を終わりにいたします。

[議長]

ありがとうございました。ご苦労様でした。
ただ今の発表につきまして、御質問はありますか。

(委員)

領域別教材数で学校図書の「読むこと」の教材数が多いが、教材数と学習指導要領との関連があるのか。

(専門員代表者)

言語感覚の育成の視点が強調されている。

(委員)

各教科書で季節感についてどのように記述されているか。

(専門員代表者)

季節感については、各單元ごとの扉に、季節ごとの短歌や俳句が載っています。また、季節感を感じられる写真なども掲載されている。

(委員)

古典学習の音読、暗唱については、どのように扱っているか。

(専門員代表)

古典学習では、音読や暗唱の活動の指導に力を入れている。

(委員)

言語感覚の育成についてはどうか。

書写	<p>(専門員代表者) どの会社も言語感覚の育成に力を入れている。</p> <p>(委員) 経験の浅い教員でも、指導しやすくなるような配慮はされているか。</p> <p>(専門員代表者) どの出版会社においても配慮されている。</p> <p>[議長] 以上で国語の質疑を終了します。代表者の方は、ご苦劳様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 書写の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 書写について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) まず初めは、東京書籍の教科書についてでございます。東京書籍は、他の教科書と違い、B5より横が長いA B型の判型の教科書で、書き込み欄が工夫されています。</p> <p>巻頭には、「これから学ぶこと」として各学年の学習内容のポイントや学習の進め方が示されております。学習の流れといたしましては、毛筆で学習したことや気づいたことを、硬筆の学習で確認・発展させるように構成されています。</p> <p>また、「振り返ろう」という自己評価では、学習内容を再確認する工夫がされています。コラムの扱いについてでございますが、東京書籍は、それぞれの単元の中に、教材に関連した話題のコラムが掲載されており、巻末には、「いろいろな書式」として、書式ごとの書き方の例や「書写テストに挑戦」などの資料がまとめられております。</p> <p>その他の特徴といたしましては、毛筆教材では、筆使いについて朱墨と薄墨で視覚的に表現され、手本の横に「書くときのポイント」が示されております。</p> <p>また、「防災訓練」を題材として取り上げるなどの工夫がされております。</p> <p>続きまして、学校図書教科書についてでございます。学校図書は、他の教科書より横が少し長いB5の変形の教科書です。</p> <p>巻頭には、「学習の進め方」が示されており、その後、学習の前の確認事項が説明されています。各単元では、毛筆教材がはじめにあり、見開き2ページを使って手本が示されております。そして、終わりには、「硬筆で書いてみよう」が設定され、毛筆での学習を生かして硬筆に取り組</p>
----	---

み、学習内容を確認する構成になっています。

また、「書写の窓」という、教材に関連した話題のコラムが掲載され、篆刻などの発展学習も示されております。巻末には、「楷書のいろいろな書き方」「書き文字と活字」「行書の漢字一覧表」の資料がまとめられています。その他の特徴といたしましては、「行書・楷書を選んで書こう」という課題が設定され、目的や場面に合った書体を考えさせることが工夫されていることや、「枕草子」や「少年の日の思い出」などの文学教材も題材となっています。

続きまして、三省堂の教科書についてでございます。三省堂は、B5の判型です。各単元の冒頭に目標を示し、「考えよう・話し合おう」に、単元のめあてについての問いが設けてあり、自ら考えることから学習に入っていけるように工夫されています。

また、各単元が、毛筆の練習で書いて確かめ、次に、硬筆のワークシートに書いて復習できるように構成されています。

また、見開きで学習の流れが見渡せるように、「理解する」「書いて確かめる」「振り返る」という活動の構成とデザインが工夫されています。3年生の末尾には、「三年間で学んだ書写技能」があり、中学校の書写活動を振り返ることができるようになっています。

その他の特徴といたしましては、行書単元の前に、行書を使って硬筆で書いた歌詞が掲載されております。

また、資料編では、「日常の書式」や「文字の変遷・文房四宝」「楷書・行書一覧表」として、「小学校で学習した漢字」「中学校で学習する漢字」「自分の文字」などが工夫されております。

続きまして、教育出版の教科書についてでございます。教育出版はB5の判型です。巻頭には、「目的に合わせて書こう」で、「書く目的」に合わせて「どんな力を身に付けるか」が示されています。

また、各学年の初めに改めて目次のページが設けられています。全体的な構成といたしましては、見開き2ページで、右のページには「毛筆手本」、左のページには「目標」「考えよう」等の学習項目が示されており、毛筆の筆先を写真で示すなどの工夫がされています。

また、国語の教科書に掲載されている作品やレポート等の日常に役立つ作例が多く掲載されており、国語や他教科との連携が図られております。資料編では、「あの人が残した文字」として、「一休」や「樋口一葉」など、歴史上の人物や文学者の肉筆を紹介しています。その他の特徴といたしましては、目標を意識しての「なぞり書き」を設け、文字のバランスを身に付ける工夫がされており、伝統的な書式の「色紙」「短冊」などを扱い、文化を尊重するような配慮がされています。

最後に、光村図書の教科書についてでございます。光村図書はB5の判型です。各単元の教材が見開き2ページにまとめられており、全体の約半分にあたる後半は資料編で、「日常の書式」「活用するヒント」「書写事典」が掲載されています。教科書全体を「基礎編」「学習編」「資料編」の3部構成とし、書写力を育てる工夫がされています。各単元の冒頭に目標を示し、文字を書くポイントを「学習の窓」をヒントに考えて書き、基礎・基本を身に付けられるようになっています。

また、毛筆の練習後、硬筆で書き、復習できるような構成をとっていま

	<p>す。コラム「季節のしおり」では、詩や短歌等を楷書や行書で書く活動も取り上げられています。その他の特徴といたしましては、巻頭に「中学校三年間の見通しをもとう」が設けられ、中学校3年間の目標が掲げられており、分かりにくい筆使いや字形については、写真で示したり図解したりして、視覚的にも理解しやすいように工夫されています。以上でございます。</p> <p>[議長] 説明 ご苦労様でした。 ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。</p> <p>(委員) 毛筆と硬筆の扱いについて、学習指導要領ではどのように位置づけられているか。</p> <p>(専門員代表者) 学習指導要領の書写に関する事項によると、1年生では、ほぼ楷書である。2年生で行書に入り、3年生では多く行書である。毛筆と硬筆では、どの教科書会社もバランス良く指導できるようになっている。</p> <p>(委員) 国語の教科書と書写の教科書が異なっても問題はないか。</p> <p>(専門員代表者) 異なっても指導上は問題ない。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 続きまして、社会科地理的分野の報告です。社会の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 社会（地理的分野）について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) 東京書籍では、小学校との関連が表現されており、「分野関連マーク」地理・歴史・公民分野との関わりが見やすく記載されています。また、小学校で学んだことを「章の頭」にそれぞれ記載されていることが特徴です。 基礎的・基本的な知識技能を習得する工夫として、導入・学習課題・本</p>
--	---

文・資料・確認の流れで構成され、学習内容の定着が図られています。また、グラフ・地形図の読み取り方など「地理スキル・アップ」や調査学習を進めるうえでの「調査の達人」などが設けられています。

思考力・判断力・表現力を育成する工夫として、最後に「確認」が設けられており、それぞれの章の学習内容をまとめたり、説明をすることで、思考力の育成を図っています。世界の各州、日本の各地方の学習の最後にもそれぞれの州・地方を自分でまとめられるようになっています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、学習内容に関連する写真等を豊富に掲載し、生徒の学習意欲を高められるようになっています。

教育出版では、学習課題とともに「見てみよう」が記され、各節の最後には説明や記述などで表現させたりするなど、作業学習を取り入れていて見やすくまとめられています。

基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫として、導入資料・学習課題・本文・資料・ふりかえりの流れで構成され、学習内容の定着が図られています。また地形図の読み取り方など「地理にアプローチ」を設けられています。

思考力・判断力・表現力を育成する工夫としては、ページの最後に「ふりかえり」（1・2）が設けられており、章や節の最後に「学習のまとめと表現」で説明したりすることで思考力の育成を図るなど、言語活動で学習内容をまとめるようになっています。

主体的に学習する取り組む態度を養う工夫としては、地域的话题を紹介する「地理の窓」や「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」などが設けられ、興味・関心に応じて探求する学習に取り組めるようになっています。

帝国書院では、学習課題を設定し、地図資料や写真により課題に迫り、本文、資料、作業の組み合わせにより基礎を培い、深化・発展的な問いを提示するなど、見やすくまとめられています。

基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫として、「導入資料」「学習課題」「本文資料」「確認しよう」「説明しよう」の流れで構成され、学習内容の定着を図っています。また、地形図の読み方など「技術をみがく」が設けられています。

思考力・判断力・表現力を育成する工夫として、「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、説明・要約などを行う一方で、州や地域ごとに「学習をふりかえろう」が設けられ言語活動で学習内容をまとめるようになっています。また、用語解説は本文近くの側注欄に設置されています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、「共生」「環境」「防災」の3つのテーマに分けられ、生徒の興味・関心を高め、主体的に取り組めるようになっています。

日本文教出版では、特徴として「連携コーナー」と題して教科書の左下に小学校での既習事項や今後学ぶ事項との関わりが記載されています。

基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫として、導入資料・学習課題・本文資料・学習の確認や活用の流れで構成され、学習内容の定着が図られています。地形図の読み方など「スキルUp」が設けられています。

思考力・判断力・表現力を育成する工夫として、「学習の確認と活用」が設けられ、説明や要約を行い、言語活動で学習内容をまとめるようにな

<p>社会（歴史的分野）</p>	<p>っています。また、各地方に「学習のまとめ」が設定され、生徒が自分で表現する活動ができるようになっていきます。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、「地理+α」「自由研究」「地理からのメッセージ」で最新の地理的トピックを具体的に紹介し、生徒の興味・関心を高め、主体的に取り組むようになっていきます。</p> <p>〔議長〕 ただいま地理的分野について、説明がありました。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。</p> <p>（委員） 教科書会社によって、学習の流し方に違いはあるのか。</p> <p>（専門員代表者） どの教科書会社も、基本的には、学習の流し方については同じである。ただ、扱う構成は違う。</p> <p>（委員） 領土問題についての表記はどうか。</p> <p>（専門員代表者） どの会社も日本固有の領土と明記している。ただし、歴史的な背景、現状の説明、扱っている場所など内容については違いがある。</p> <p>〔議長〕 引き続き、社会（歴史的分野）について説明をお願いします。</p> <p>（専門員代表者） 東京書籍は豊富で考えられた配置の資料、学習指導要領に即して、ねらいをもったページ割り振りなどが非常に優れています。我が国の歴史の大きな流れを理解させるために単元のはじめにイラストとともに掲載されている歴史の流れが生徒の関心意欲を高める効果をしています。このため基礎的・基本的な知識の定着が図られやすいと考えられます。</p> <p>また、世界と日本の歴史や文化を学び、関わりを学習しやすいようにページの下に年表を掲載しています。今どのあたりの時代を学習しているのかが理解しやすくなっています。また、諸外国との関係を資料の注釈で解説をしていることにより理解を深めやすくなっています。</p> <p>基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫としては、見開き2ページに1時間の内容が掲載されているので、学習内容の見通しをたてたり、振り返りをしたりしています。</p> <p>思考力、判断力、表現力等を育成する工夫としては、歴史的な事象を相互に対比しながら共通点や相違点に気づき、その事象の特色を捉えられるように、掲載されている資料の選定や配置が工夫されています。</p>
------------------	--

す。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫としては、教科書に掲載されている資料に見開きでの通し番号をつけ、授業で指示や家庭学習がしやすいように工夫されています。「わたしたちの歴史探検隊」を各時代の最後に設け、身近な地域の歴史を学ぶことによって地理的分野との関連を図っています。

また「深めよう」では現代の話題を取りあげて公民的分野との関連を図っています。3年間を見通した教科書の内容配置となっています。各分野との関連も図りやすいです。

教育出版は言語活動の充実に力を入れています。見開きページにはその内容に関する歴史上の言葉を紹介しています。これはキーワードで学習課題を設定し、展開することができるので授業者は授業の見通しがたてやすいといった工夫がみられます。生徒のイメージにも歴史的事象が残りやすく、そのため歴史の流れを理解しやすいという優れた点があります。

また、巻末の年表には日本の歴史とともに、中国・朝鮮・世界との関係がまとめられています。歴史・文化との関わりを考えるとともに今後の残されている諸外国との課題についても考える手助けとなっています。各国の横のつながりも理解しやすいので、未来をひらく子ども達に学んでおいてほしい東アジアの歴史について詳しく学ぶことができます。

基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫としては、「学習のまとめと表現」を単元の最後に掲載しています。年表形式で書かれていてキーワードも掲載されているので、時代をふりかえることに適しています。

思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、「人物から歴史を探ろう」では、小学校からの既存の知識と中学校で学ぶ歴史の通史を結びつける役割となっています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫としては、見開きページの最後に「ふりかえる」というコーナーを設置しています。これは本時の学習内容・学習活動を振り返ることに役立つコーナーであります。巻頭に「歴史のなかの言葉」を紹介しています。歴史に名を残す人物の名言を掲載することによって、その人物が時代に与えた影響・育まれた文化を理解するのに役立っています。生徒の頭の中にイメージとして入っていきやすい工夫がみられます。非常に言葉について大切に扱っている教科書です。

清水書院の歴史の教科書の特色は、基本的・基礎的な知識や技能を身につけるように工夫されていること、歴史を理解し、さらに興味を広げることができるように工夫されていることです。

まず、基本的・基礎的な知識や技能の習得については、各授業の学習課題とそのまとめが、明確に具体的に設けられており、資料も課題解決のための手がかりとして活用できるように配置されて、とても、わかりやすい構成となっています。本文の内容も基本的にバランスがとれています。世界史の分野が充実して、特に、東アジアと我が国とのつながりに重点が置かれているのも大きな特徴です。

次に、歴史を理解し、さらに興味を広げることができるようにする工夫については、1時間ごとの「まとめてみよう」や章末の「まとめてみよう」で、具体的課題が設定されており、生徒自らが自分の言葉で作業を行って学習が進められるように工夫されています。

また、「歴史のとびら」や「もっと知りたい歴史」などで、歴史学の方法論を学ばせることで、より興味を広げるようになっていることです。

帝国書院の特色は、各時代の特色が描かれた「タイムトラベル」で各時代の本文と関連する重要な歴史の場面を探し出す視点を示し、生徒の感性に訴えながら、その時代の特色をとらえさせる工夫があること、文化史にページを多く割いて、日本の伝統、文化、芸術について紹介する欄や大きな写真を掲載し、政治・経済・国際関係等の社会的背景を踏まえた記述で、文化を形成した人々の活動や、工夫・努力する姿などにも触れている点です。

まず、見開き1時間の誌面が、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認・説明しよう」の流れで構成され、学習した基礎知識を整理して定着できるようになっています。また、「技能をみがく」で技能の習得の工夫があります。

次に、各時代の「タイムトラベル」で、絵から疑問を見出しながら、課題をつかませ、習得した知識や技能を活用して時代の特色を表現させてまとめるという学習過程で、思考力・判断力・表現力を育む工夫があります。

また、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」「学習をふりかえろう」の構成は、学習過程が分かりやすく、知識をスモールステップで習得しながら、要点をつかむことができ、生徒の意欲喚起につながる工夫でもあります。

最後に、見開き2ページの構成により、授業で活用しやすくなっている点、部のあとには「学習をふりかえろう」のページが設けられ、時代を大観する学習が工夫されている点、充実した資料と内容で独自の文化史の紙面構成に特徴があるといえます。

日本文教出版の特色は、見開きを1時間とし、導入資料、「学習課題」が示され、「学習の確認と活用」によって学習を振り返り、基礎的・基本的な知識を習得するという1時間ごとの授業の流れが明確になっています。

また、紙面がAB版に拡大したことで資料・内容の充実が図られるとともに、その関連がわかりやすく構成されています。見開き1時間の内容が、導入資料と「学習課題」の明確な提示、「学習の確認と活用」の欄では、その日の学習を振り返るような書き込みをして、基礎的・基本的な知識を習得する工夫がされています。

次に、学習したことを活用しながら「時代の特色」について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動が、時代ごとに配置されるなど、思考力・判断力・表現力を育成する工夫もみられます。また、各時代の「導入」と「まとめ」の学習のほか、「とらえよう！時代の転換」など独自の視点で節目になる歴史的事象を取り上げ、言語活動を設けて主体的な活動を促すとともに生徒の意欲を引き

出す工夫がされています。

最後に、学習課題、学習の確認と活用が呼応する見開き1時間ごとの学習、時代ごとの「地図で見る世界の動き」の「導入」、「とらえよう！時代の特色」による学習内容を活用したまとめの学習を繰り返すことで、各時代の特色をつかみながら、我が国の歴史の大きな流れを理解できる構成になっています。この教科書は各時代に「時代の転換の様子」を捉える学習活動を置き、習得した知識を活用して「時代の分岐点」を捉えさせる工夫があることが大きな特色と言えます。

自由社の教科書は日本への愛情を深める工夫が随所にみられます。現在希薄となっている国への愛情を育成が図られると考えられます。各章のまとめは、各時代共通で人物比較、ひとこと作文、意見交換等を設け、特色を表現し、思考力・判断力・表現力の育成に役立っています。また一貫した通史として歴史の流れを理解しやすいように読み物資料が充実していますので、日本の偉人に対して興味を抱きやすくなっています。

また、巻末の年表で日本の歴史とともに、中国・朝鮮・世界との関係がまとめられています。各国との横のつながり・歴史・文化との関わりを考えるとともに、今後の残されている諸外国との課題についても考える手助けとなっていますので、社会科の目標である公民的資質を養うことができます。

基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫としては、きめ細やかで丁寧な表現をしています。また、教科書内での太文字（重要語句）も多く、生徒は学習しやすい内容となっています。思考力、判断力、表現力等を育成する工夫としては、章末に「〇〇とはどのような時代か」のコーナーが設定しており、時代を自分の言葉でまとめることにより表現力の育成を育んでいます。また、大型のコラムを設け、読み解く力と読書の習慣を身につけるようになっています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫としては、細かな知識が豊富に掲載されている点です。このきめ細やかな記載自体が主体的に学習に取り組む工夫となっています。

最終ページに「歴史を学んで」を設け、コラム「外の眼から見た日本人」を読み海外の人が日本人をどうみているのかまとめる活動を通して、公民的資質の向上に努めています。歴史的分野と公民的分野との関連を、非常に意識している教科書となっています。

育鵬社の歴史の教科書の特色は、学習の段階ごとに言語活動が数多く取り入れられていること、歴史上の人物についてのコラムが充実しているなど、我が国の伝統と文化に対する尊重と愛情を育てる工夫がされていることです。

まず、学習の段階ごとに言語活動が数多く取り入れられていることについては、「歴史人物Q&Aカードをつくろう」や「〇〇の世界へようこそ!」、「課題学習」など数多く掲載されており、個人で学習を進めるところから、仲間と協働的に進める学習が充実しています。また、資料も様々であらゆる視点から迫れるように構成されています。

次に、我が国の伝統と文化に対する尊重と愛情を育てる工夫がされていることについては、国家、社会、文化等につくした人物を「人物

クローズアップ」、「なでしこ日本史」などで紹介し、「日本の美の形」などで優れた文化遺産などを取り上げ、我が国の歴史に対する愛情を育てる工夫がされています。

また、我が国からの視点だけではなく、日本と同時代の世界の動きも「このころの世界は」を設けて、多面的に我が国の歴史を考察できるように工夫されています。

[議長]

説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。

(委員)

教科書会社によって第2次世界大戦についての歴史認識に違いはあるか。

(専門員代表者)

南京事件を例にとると、南京事件という名称を挙げ説明している会社、本文以外に事件について欄外で補足している会社、南京大虐殺という表記の会社、記述がない会社などがある。

(委員)

南京大虐殺について学習指導要領の位置づけはあるのか。

(専門員代表者)

名称等を使うのかは教科書会社の判断である。

(委員)

教科書会社によって、人命を日本語の読み方で表記する会社と現地の言葉もあわせて表記する会社があるが違いがあるのか。

(専門員代表者)

以前は日本語表記だけだったが、世界とのかかわりが重視されるようになり、外国の表記が増えてきている。どの表記を使うかは教科書会社の判断である。

(委員)

教科書会社によって、扱っている歴史上の人物の数について違いがあるがいかがか。

(専門員代表者)

すべての人物を授業の中では扱うのは、授業時数を考えるの難しいので、資料的な扱いになる人物もある。

(委員)

教科書によって本文が常体と敬体の記述あるが、それによる影響は

<p>社会（公民的分野）</p>	<p>あるか。</p> <p>（専門員代表者） 特に影響はない。子供に理解してもらいやすいよう各会社が判断している。</p> <p>〔議長〕 それでは、ここで休憩をとります。社会（公民的分野）の開始時間は、11：25とします。</p> <p>〔議長〕 続きまして、社会（公民的分野）について説明をお願いします。</p> <p>（専門員代表者） 東京書籍では、1回の授業が見開きになっていて、初めに、「学習課題」を明記し、最後にまとめを行う「確認」を設け、学習内容を確実に定着させるようにしています。また、学習課題に対して、平易な本文と共に、写真、図、データ、グラフ等、多様な資料によって基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、「確認」等でそれらを定着させるようにしています。</p> <p>また、「だれを市長に選ぶべき？」等、各章の初めにシミュレーションを取り入れた学習を、章末でさらに発展させ追求する学習をそれぞれ設定することで、単元の学習を構造化しやすくなっており、思考力等を高めることができるようになっていきます。</p> <p>個人やグループで行う活動をまとめた「公民にチャレンジ」や調査学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付ける「調査の達人」、本文中の内容を詳しく説明したり、関連する内容を取り上げたりする「公民にアクセス」といったコーナーを設けることで、学習内容を深め、主体的に学習を進められるようになっていきます。</p> <p>教育出版では、本文ページ、表記の説明、学習コラムや特設ページが充実し、様々な事例を紹介することで社会的な見方、考え方を培うようになっていきます。学習のきっかけや追及の中心となるような資料を数多く掲載し、生徒の興味関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう配慮されています。また、「学習のまとめと表現」を設け、学習内容の整理と確認の問題演習ができる工夫があります。「もしも私が裁判員裁判に参加したら」など、シミュレーション学習等を通し、思考力を高め、表現力を育成する学習活動が設けられています。</p> <p>また、「言葉で伝え合おう」では表現活動を中心としたテーマ学習が設定され、思考力、表現力を育成するようになっていきます。「持続可能な未来を築いていくために、何ができるのだろうか」をテーマに設定し、生命、環境、平和、経済、資源、文化について理解を深め、現代社会の現状と課題の解決に向けた学習の工夫がされています。</p> <p>清水書院では、明瞭な本文内容と側注の補助説明等によって、事象への理解が進み、学習内容が定着するようになっていきます。また「深める公民」「もっと知りたい公民」は基礎的・基本的な知識とともに</p>
------------------	---

に、資料等を使いさらに具体的な事象について学べるようになっていきます。

各編の最初には、学習内容に関連する人物の言葉を掲載して、興味関心を高め、主体的な学習につなげる工夫がなされています。

特設ページ「もっと知りたい公民」では、学習内容に関連するテーマを図版や写真を用いて解説しています。また、「深める公民」では、学習内容について、より身近な課題や、実際に起きている事象について扱うことで、学習内容の深化を図る工夫がなされています。

本文中には学習目標や補足説明を記号で示し、学習内容の確認ができるようになっていきます。最終章の最後に地理、歴史、公民的分野のまとめとして、「もっと知りたい公民」の中で「卒業論文を書いてみよう」という課題ページを設けています。

帝国書院では、見開きの初めに「学習課題」を示し、設定された学習課題に対して、頁末に「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習した基礎的・基本的な内容を理解できたか確認するようになっていきます。また、「トライアル公民」では、資料の活用や技能、調査の方法の習得を図れるようになっていきます。

巻頭に、「年齢に応じてできること」や「夢に向かって」という項目を設定し、公民的分野の学習についての動機づけを行っています。また、各部の始めには「学習の前に」を設けて、学習内容について大きなイラストや写真を見ながら身近な出来事と結び付けて考えさせるようにしています。

未来の社会をつくるために参考になる取組を紹介するコラムには「羅針盤マーク」がついており、少子高齢化、情報化等について紹介してあります。授業の後に活用する「確認しよう」「説明しよう」では基礎・基本の定着と言語活動の充実を図っています。

日本文教出版では、最新の時事問題や写真を掲載し、生徒の理解の助けとなる分かりやすいイラストなど、資料が数多く掲載され、学習効果を高める工夫がなされています。「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」「明日に向かって」など、教科書全体に考え方や技能を応用することができる特設ページが多数掲載されています。

「ズームイン」では、具体的なテーマを掘り下げて、学習内容を多面的・多角的にとらえる工夫がみられます。各章の初めに、学習内容の導入として、学習の必要性を説明し、生徒が意欲的に学習に取り組めるよう配慮がなされています。

「合唱コンクールでの練習場所の割り当てについて」の事例など、日常生活の場面から「対立と合意」「効率と公平」について学び、民主主義について考える工夫がなされています。

学習課題を明記し、「学習の確認と活用」では、学習の理解を確かにする活動や、その知識を使ってその問題に取り組む問をしめすなど、学習内容を確認し、さらに発展させる工夫もなされています。

自由社では、見開き2ページに学習テーマをまとめ、学習目標を明確にし、学習内容が理解できているかを確認し、学習内容を深める課題が提示されています。巻頭には、世界に誇れる日本の先端技術を紹介し、巻末では「我が国の領域」について、大きな地図で分かりやす

く示しています。学習のまとめとしては、最重要語句の確認があり、各単元での学習内容を確認することができます。学習の発展では、学習内容を深める課題を設定し、論述する作業を示すことで、学習内容の習得を図る工夫があります。学習のきっかけや追及の中心となるような資料を数多く掲載し、生徒の興味関心を高めています。

終章のレポートと卒業論文作成を通し、現代の課題について調査、研究し、プレゼンテーションするための手立てが紹介されています。学習を深めるために「ミニ知識」「紹介する主な人物」「もっと知りたい」では、具体的な内容を掘り下げ、様々な見方・考え方を紹介し、思考力、判断力、表現力を育てる工夫をしています。

育鵬社では、見開きの初めに学習目標を示し、頁末にまとめ問題を設定しています。章末の「学習のまとめ」のワークシートにより、重要語句を確認し知識を習得できるようになっています。「やってみよう」では、資料の比較や調査の仕方等の技能の習得を図っています。

最初に「なぜ『公民』を学ぶのか？」が掲載されており、「人生モノサシ」では、自分の将来設計について考える場面を設定して、学習への動機づけを図り、主体的な学習につなげています。

各章にある「理解を深めよう」では、学習内容に関わる具体的課題や身近な事象の資料を掲載し、「考えよう」では、考える課題を提示して、学習内容を深化させようとしています。

各章のまとめでは「学習のまとめ」を設置し、重要語句や基本的事項の確認ができるようになっています。各章の導入に、学習内容の趣旨をとらえさせる「入り口」の見開きを設け、学習内容への興味・関心を促すようになっています。

[議長]

説明、ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。

(委員)

地理、歴史、公民の教科書会社が別になっても問題はないのか。

(専門員代表者)

基本的には問題ないが、同じ会社のほうが使いやすいと考えるものもいるかもしれない。

(委員)

ばらばらに選定した場合の課題はあるのか。

(専門員代表者)

年間指導計画を作成するのが課題である。また、生徒が分野ごとに教科書会社がかわったとき、難しいと感じてしまうかもしれない。

(委員)

領土問題の記述で各社に違いはあるか。

地図	<p>(専門員代表者) どの会社も、日本固有の領土であることを明記しているが、細かな表現の仕方には違いがある。</p> <p>(委員) 拉致問題についての記述はどうか。</p> <p>(専門員代表者) 教科書会社によって、文量や表現、内容については各社で違いがあるが扱っている。</p> <p>(委員) 最近、選挙権を18歳からもつということがあるが、選挙権についての扱いはどうなっているか。</p> <p>(専門員代表者) 18歳から選挙権という記述はないが、各社が選挙権については扱い、政治参加の大切さを説いている。</p> <p>(委員) 集团的自衛権について学習指導要領ではどのように示されているか。</p> <p>(専門員代表者) 学習指導要領には集团的自衛権を扱えという文言はない。教科書会社では集团的自衛権という文言を扱っている会社とそうでない会社がある。</p> <p>[議長] 以上で公民の質疑を終了します。</p> <p>[議長] 最後に、地図について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) 東京書籍の地図帳は、二部構成からなり、広い視野から地域的特色をとらえ、テーマ別に資料図やグラフをまとめ、「注目したい記号」などを示して基礎を培うようになっています。 基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫としては、主題図が「基本資料」の形で設けられています。一般図では、国名や主要な都市名、自然名などの基本的な情報を挙げ、「注目したい記号」で地域的特色をとらえやすくしています。 思考力・判断力・表現力を育成する工夫として、各州・各地方の「テーマ資料」では、諸地域の学習、テーマに沿って学習する際に活用できる資料を取り上げ、テーマに応じて考察することで理解を深</p>
----	--

<p>数学</p>	<p>め、学習効果を高めています。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度を養う工夫としては、巻頭に「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」を設け、地図帳の構成要素を解説し、生徒が主体的に地図帳を活用して学習を深めるようになっていきます。</p> <p>帝国書院の地図帳は、鳥瞰図や自然、産業、生活文化の3つの視点で構成され資料図などの資料が豊富で、「ながめてみよう」では、「地図を見る目」を示して広い視野から日本や世界の地域的特色をとらえています。</p> <p>基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫として、地図帳の見方・使い方がわかりやすく説明されており、また地図の着眼点を示した「地図を見る目」や地図から読み取れる学習活動が設けられています。</p> <p>思考力・判断力・表現力を育成する工夫としては、自然環境や農業・工業・人口・文化など特定のテーマを表現した資料図を多面的に表現し、言語活動を促すために「やってみよう」が設けられています。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、鳥瞰図が設けられ、生徒の興味・関心を喚起させる工夫がなされています。また、「地域の特色をとらえるポイント」では着目すべきポイントを例示し、作業を示し、主体的に地図帳を使って学習を深めるようになっていきます。</p> <p>[議長] 説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。</p> <p>[議長] ないようですので、以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 数学の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 数学について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) 教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告を行います。 まずはじめは、東京書籍でございます。東京書籍では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、段階を踏んで学習内容が定着するような題材が取り上げられており、具体的な事象と結び付けて考察する学習展開や、豊富な問題演習による反復学習により、基礎的・基本的な知識や技能を習得す</p>
-----------	--

るよう構成されています。例の次に「たしかめ」が置かれ、「例」と同じ型で数値のみを変えた問題を設け、つまずきを解消しています。「ちょっと確認」「まちがい例」で同様な間違いを繰り返さないよう説明されています。巻末の「学びのつながり」で、中学校3年間の学習内容を系統的に振り返って確認できるようにしています。

次に、日常生活や社会における事象を数理的にとらえ、考察し、表現したり、処理したりする能力を育てるために、身近な事象に関連して数量や図形などを数理的に考察するような題材が取り上げられ、思考力や表現力などの育成が図られるよう題材が扱われています。また、本文中の「やってみよう」や章の問題Bの「活用の問題」で自分の考えを説明する課題が取り上げられ、言語活動の充実が図られています。

さらに、「数学マイノート」や「レポートにまとめよう」で表現力の育成が図られるよう構成されています。右ページを始まりにして、次の展開が見えないよう工夫しています。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、学習課題やねらいを明示することで、学習に見通しを持ち、学ぶ意欲を高め、数学的活動に主体的に取り組めるようにしています。各章の導入課題では操作活動を取り入れ、その活動が本文の指導へとつながり、数学的活動のよさや楽しさを実感するよう設定されています。

また、「数学のまど」や巻末課題編の「社会とつながる」で、社会や職業における数学の活用を取り上げ、数学を学ぶ意義や有用性が実感できるようにしています。

続いて 大日本図書でございます。大日本図書では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、既習事項との関連を踏まえて導入課題が扱われています。

また、「思いだそう」など、側注を利用してこれまでの学びを振り返るとともに、問題の横の「プラスワン」で繰り返し練習する場面を設けることで基礎的・基本的な知識や技能を習得するよう構成されています。各節は、基本的な内容について結果だけでなく、自ら説明できるように設定されていて、節末の「練習」は本文の参照ページが示され、振り返り学習に取り組むよう構成され、巻末の「まとめの問題」は反復練習ができるように設定されています。

次に、日常生活や社会における事象を数理的にとらえ、考察し、表現したり、処理したりする能力を育てる工夫として、社会や日常生活における事象が題材として取り上げられ、数学を活用する場面を設けることで、思考力や表現力などの育成を図るよう扱われています。

巻頭の「数学の世界へようこそ」で数学を学び方について示されています。「深めよう」「調べよう」「読み取ろう」のコーナーで説明する活動や互いの考えを紹介し考え方を比べる活動が取り入れられ、思考力や表現力などの育成が図られるよう構成されています。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、巻頭の「数学の世界へようこそ」「ノートづくり方」で主体的に取り組むための方法が示されています。各章に「利用」の節が設けられ、学習内容が具体的な場面で活用することに気付くよう構成されています。各章「利用の節」や「挑戦しよう」では、学習内容を活用する場面が設けられています。巻末「Mathful」では数学の有用性に着目したり、数学と日本の文化との関連、和算などを取り上げられています。

続いて、学校図書でございます。学校図書では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、領域ごとに章の導入前に「ふりかえり」のページが設定されており、その章に関わる既習事項が記述されています。側注にも「ふりかえり」があり、既習事項との関連をより分かりやすくし、内容もできるだけ多く取り入れるよう配慮されています。

また、キャラクターの吹き出しや側注により、学習がスムーズに進むように構成されています。

また、章末には基本的な内容を問う「確かめよう」や「まとめの問題(基本)」で学習内容の定着を図れるようにしています。巻末には、前学年や当該学年の復習ページが配されています。

次に、日常生活や社会における事象を数理的にとらえ、考察し、表現したり、処理したりする能力を育てるために、身近な話題や、目に見えない所で活躍している数学に目を向けて課題として扱っています。活用の問題を章末や巻末に配し、取り組みやすくしています。

また、数学的な考え方について、どのような考え方があるのかを巻頭で示し、章の中で、数学的な考え方がどのように使われているか側注に例示されている。また、各学習内容がつながりをもって学べるように「目標」で始まり、その解決後、次なる疑問を吹き出しで示し、次の目標へとつなげています。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、章の導入では操作的な課題を取り入れ、主体的に学習がスタートできるよう配慮しています。章末の「まとめの問題」の中で「活用」問題を位置付け、その章で学習した内容を利用して考える問題を設定しています。

数学的活動となりうる学習活動には、「数学的活動」の記号を示して、活動を促し、数学のよさを感じたり、活用して考えることができるように配慮されています。「クローズアップ」などで興味・関心を高めるよう工夫されています。

続いて、教育出版でございます。教育出版では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、各章の始めにある「学習をする前に」で既習事項を確認し、章末にはその章で学習した基礎的・基本的な内容をまとめるページ「学習のまとめ」が設けられており、内容を整理することができます。

また、本文中で、既習事項について、「もどって確認」で振り返ったり、「たしかめ」や節末「基本のたしかめ」や領域末「練習問題」、巻末「たしかめの補充問題」で反復練習を行うことができ、基礎・基本の定着を図ることができるように構成されています。

次に、日常生活や社会における事象を数理的にとらえ、考察し、表現したり、処理したりする能力を育てるために、章末などで、身近な事象に関連する題材を扱い、学習内容と日常の事象とのつながりを意識させながら、主体的な学習が展開されるように構成されています。巻末の「数学で大切にしたい考え方」で、数学的な考え方が示されています。

また、いろいろな方法で考えることができる課題を各学年で設定し、表現力を高めるための「伝えよう」等が配置され、自分たちの考えを伝え合う場面が設定され、主体的な学習が展開されるように構成されています。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、観察、操作や実験などの活動を踏まえた課題が設定されており、数学的な見方や考え方のよさに気付かせ、身近で実際の課題解決に利用できるように構成されています。各章の始めに、学習の意義を感じさせるための身近な題材が扱われています。

また、「チャレンジコーナー」や「数学ミニ辞典」等で、身近な事象に関連する題材を扱い、学習内容と日常の事象とのつながりを意識させながら、主体的な学習が展開されるように構成されています。

続いて、啓林館でございます。啓林館では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、本文の中に「ふりかえり」が示され、既習事項との系統性がとりあげられ、復習や学び直しをするよう構成されています。くり返し練習などが充実しており、節末の「練習問題」では、反復練習ができ、巻末の「くり返し練習」は自ら進んで取り組むことができるような問題が用意されています。反復して学習することで、新しい学習内容へとスムーズに発展させていけるように構成されています。

また、章末「基本のたしかめ」は参照ページが示され、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るよう設定されています。

次に、日常生活や社会における事象を数理的にとらえ、考察し、表現したり、処理したりする能力を育てるために、既習事項や具体的な操作活動を基にした、主体的・発展的な学習の場面が設けられて、数学的な思考力や表現力などの育成を図るよう構成されています。数学的な見方・考え方の視点が側注の「見方・考え方」の欄に示されています。思考力・判断力・表現力の定着を図るよう、「千思万考」・「みんなで話しあってみよう」・「自分のことばで伝えよう」・「自分の考えをまとめよう」が設けられ、記述による表現力を高める場面が設定されています。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、各章の節とびらで日常生活と数学とのかかわりが触れられ、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し、伝え合う数学的活動を取り入れています。

また、数学広場の「ひろがる数学」「数学を通して考えよう」や本文中の「数学展望台」では、子どもたちの興味・関心に応じて取り組む課題が設定されています。章末「身の回りを広げよう」や別冊の「MathNavi ブック」で、既習内容を活用する課題や数学の有用性に着目しています。

続いて、数研出版でございます。数研出版では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、基礎となる知識や技能を習得し、定着を図るための問題が各単元において用意されるとともに、巻頭の「クイックチャージ」では、既習事項が簡潔にまとめられており、本文中に「ふりかえり」としてその内容に関連する既習事項を確認できるようになっています。

また、節末の「確かめよう」や章末問題、巻末の「確認しよう！」でも豊富に問題に取り組むことができるようになっており、既習事項を比較して学んだり、繰り返しや反復練習といった学習がなされるように構成されています。

次に日常生活や社会における事象を数理的にとらえ、考察し、表現したり、処理したりする能力を育てる工夫として、身の回りの事象が例題、題材として扱われ、表や図を用いて学習することを通じて思考力や表現力の伸長が図られるように構成されています。例や例題の側注においてガイドキャラクターが登場し、既習事項との関わりや問題を解くための道筋が示され、思考力や判断力を高める工夫がなされています。

また、各章の様々な場所において「やってみよう」が設けられており、数学的な判断力や表現力を高める構成となっています。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、各単元の導入課題や例題がその後の練習問題につながる内容として構成されているため、主体的に

学び、数学的活動が促されるようになっていきます。「章とびら」では身近な事柄を題材として扱い、数学を学習することの有用性を感じながら学習に取り組むことのできる構成になっています。「数学探検」や「やってみよう」、「発展」では、数学の歴史や日常生活の中に数学を見いだして考えたり、判断できる題材を取り上げる構成になっています。

続いて、日本文教出版でございます。日本文教出版では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、各章の始めに「章を学ぶ前に」が設定され、学び直し、既習事項の確認の機会が設けられ、基礎的・基本的な内容を系統的に学ぶことができるように配慮されています。

また、1つの小節が1時間の授業に対応し、一単位時間毎に学習のねらいが明記されているため、学びやすく、指導しやすい構成となっています。さらに、章末の「くり返し練習」の掲載ページが示されており、家庭での復習がやりやすいようになっています。

次に、日常生活や社会における事象を数理的にとらえ、考察し、表現したり、処理したりする能力を育てるために、「生活への利用」「深める数学」で日常生活の中でどのように数学が利用されているかが扱われています。

また、「数学マイ・トライ」には普段何気なく目にしてはいる様々な事象の中から疑問を見つけ、既習事項をもとに解決していくという内容が扱われています。これらを通して、数学が身近な教科であると実感できるとともに、活用する場面が設けられ、数学的な思考力・判断力・表現力を高めるよう構成されています。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、巻頭の「数学の学習で大切なこと」で、日々の実践すべき内容が記され、「章の扉」では既習事項と関連づけた新たな課題など、興味・関心を促す工夫がなされています。側注には「チャレンジ」を設け主体的に学習できるよう工夫されています。さらに、観察、操作、実験を通し数学的活動の楽しさやよさを実感でき主体的に学習が展開されるよう工夫されています。環境問題についての記載もあり、身近なテーマや問題について考える際に、数学の有用性を実感させることができます。

(委員)

例や例題などの言葉の意味について、特徴的なものはあるか。

(専門員代表者)

どの会社でも、教科書の使い方のの中で、例や例題とはどういうものか示されている。どの教科書会社も授業の流れは同じである。

(委員)

問題の数や配置について特徴があるか。

(専門員代表者)

どの会社も繰り返し繰り返し学習できる構成になっている。問題の数には教科書会社によって多少の差があるが、学習が終わってしまった生徒が学習できる工夫がある。

(委員)

数学の定義について特徴的なものはあるか。

	<p>(専門員代表者) どの会社も同じような定義の仕方をしており、子どもたちに分かりやすく定義を説明している。</p> <p>(委員) 東京書籍は、学び合いのページで、右ページ始まりとなっているが意図としてはどうということか。</p> <p>(専門員代表者) 右ページ始まりは、自分の課題解決に合わせて解答例を見ることができる工夫である。また、見開き1時間の教科書には見やすさがある。</p> <p>(委員) 小学校と中学校の系統性という点ではどのような配慮がされているか。</p> <p>(専門員代表者) どの教科書会社も、巻頭や巻末に小学校の既習事項を載せ、振り返りができるようにしている。</p> <p>(委員) 小学校と中学校の教科書会社が違うことで支障はあるか。</p> <p>(専門員代表者) 学習指導要領で内容が決められているので、小学校と中学校の教科書会社が違うことで問題はない。</p> <p>(委員) 生徒の学力格差に対する配慮は。</p> <p>(専門員代表者) どの会社も、学習が進んでいる子には、発展的な問題や習熟問題、遅れている子には巻末、巻頭の既習事項で確認ができるようになっている。</p> <p>(委員) 別冊のあるところとないところがある。別冊の授業での使い方は。</p> <p>(専門員代表者) 別冊の答えを見ながら答え合わせができる。既習事項が載っているので復習もできる。管理の面では難しところもある。</p> <p>(委員) 教科書で取り上げる題材数と総ページ数は多い方が良いのか。</p> <p>(専門員代表者) 数学の時間は限られていて、すべての題材を解くことは難しいので多ければ</p>
--	---

理科	<p>良いということではない。</p> <p>[議長] 説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>これで、午前中に予定された報告は終了となりました。これより、休憩をとります。午後は予定通り、13:00より開始します。おつかれ様でした。</p> <p>[議長] これより、午後の部を開始します。</p> <p>[議長] 理科の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 理科について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) 理科の調査研究の結果を報告いたします。 理科の教科書は「東京書籍」、「大日本図書」、「学校図書」、「教育出版」、「啓林館」の5社から発行されています。どの発行者も、「基礎的、基本的な知識や技能の習得」や「思考力、判断力、表現力を育成」するための学習活動を支援する工夫がされています。具体的には、既習事項が丁寧に示され、单元ごとに重要語句や基本用語が復習できるようになっています。また、基本操作については、観察・実験に関連づけ習得させるようになっています。観察・実験では、結果・考察の視点が示され、生徒の思考力を高める工夫がされており、「話し合う」場面により、科学的に考え表現させる場面が示されています。 「東京書籍」の特徴は、巻頭で、探求の方法やその過程を示し、その中で教科書の使い方を説明しており、理科の学習の進め方が分かるようになっています。また、各単元の指導時期や内容の系統性を踏まえた单元配列になっています。1年生の教科書は、文字サイズが2・3年生の教科書よりも大きくなっています。 観察・実験では、「結果の見方」と「考察のポイント」で結果・考察の視点を示し、根拠に基づいて考えるようにしています。「予想しよう」「調べ方を考えよう」などの項目があり、主体的に学習させる工夫があります。また、注意が必要な箇所に注意マークと注意事項が朱書されるとともに、巻末資料として、薬品の性質や取扱い、実験操作の注意をまとめて</p>
----	--

います。

単元末には、その単元で学習した内容や自由研究が紹介され、理科への関心がより深まる工夫がされています。また、巻末には「校外の施設の活用」「科学史年表」などの資料がまとめてみられるようになっています。

「大日本図書」の特徴は、巻頭で、教科書の使い方を示し、その中で探求の流れが説明されており、理科の学習の進め方が分かるようになっています。また、各単元の指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列になっています。

観察・実験では、「結果の整理」と「結果から考えてみよう」で結果・考察の視点を示しています。「もっと」「やってみよう」などの項目もあり、主体的に学習させるための工夫があります。また、注意事項が必要な個所に注意マークと黄色囲みの注意事項を示すとともに、巻末資料として、実験を安全に行うための注意や操作をまとめ、安全への配慮がされています。

単元ごとに終章「学んだことを活かそう」があり、「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」が示されています。巻末には、全学年で「課題研究や自由研究の進め方」やその例が載っており、3学年では1・2年生の学習のまとめが見られるようになっています。

「学校図書」の特徴は、巻頭で「教科書の使い方」と「観察・実験の進め方」を分けて説明しており、「観察・実験の進め方」により、生徒が目的意識をもって観察・実験に取り組めるようになっています。また、教科書の前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっています。

観察・実験では、「結果」と「考察」の部分で結果・考察のそれぞれの視点を示しています。「操作」「結果」「考察」が別々の欄に配置されていて、結果を受けて、考察を導き、科学的な見方や考え方の育成を図るようになっています。また、注意が必要な箇所に注意マークと注意事項を朱書き太字で示すとともに、巻末資料には、実験を安全に行うための操作や薬品の取扱いをまとめています。

単元ごとに「学習のまとめ」「単元末問題」「活用しよう」を示し、巻末に「自由研究の進め方」やその例、また資料として「誤差と有効数字」や「単位の大きさを表す記号」など基本操作を含む資料がまとめて見られるようになっています。

「教育出版」の特徴は、単元の導入では、「理科の学習の進め方」を示しており、理科の学習の進め方が分かるようになっています。また、教科書の前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっています。

観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示しています。「方法」「結果」「考察」を別々の欄に配置しており、結果をもとに考察が導きやすい構成になっています。

「考えよう」では、課題解決の方法や結果の予想などが立てやすくなっており、科学的な見方や考え方が身に付くようになっています。また、注意が必要な箇所に三角のマークと注意事項を朱書きするとともに、巻末資料として、実験の基礎技能や薬品の性質をまとめています。

単元末に「要点と重点用語の整理」「基礎・基本問題」「活用・応用問題」を示すとともに、巻末では「自由研究の進め方」やその例、基礎技能

や単位のしくみ、理科で使う算数・数学などの資料がまとめて見られるようになっています。

「啓林館」の特徴は、巻頭で、課題解決の流れを示しており、理科の学習の進め方が分かるようになっています。また、教科書の前半は2分野、後半は1分野を基本とした単元配列の「本冊」と別冊「マイノート」の構成になっています。1年生の教科書は、文字サイズが2・3年生の教科書よりも大きくなっています。

観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示しています。「話し合ってみよう」などで思考させたり、表現させたりする場面を示しています。また、注意が必要な箇所に、項目ごとのマークと注意事項を朱書きしています。サイエンス資料として、実験の基本操作や薬品の性質をまとめています。

単元ごとに「学習のまとめ」があり、別冊の「ステップアップ」も「基本のチェック」、「力だめし」、「学年末・中学校総合問題」などを示しています。また、青色シートが付属し、「学習のまとめ」などでは用語を隠して覚えられるようになっており、自主的な学習が補助できるつくりになっています。

[議長]

説明 ご苦労様でした。ただ今の説明につきまして、御質問・御意見はありますか。

(委員)

教科書会社によって文字数とページ数に違いがあるかどうか。

(専門員代表者)

余白の部分や写真の大きさなどレイアウトで調整されている。字が大きいからといって内容が少ないわけではない。

(委員)

教科書会社によって実験数に違いがあるかどうか。

(専門員代表者)

発展・補足の実験ということで、トータル的には同じ数になっている。

(委員)

どれくらいの数か。

(専門員代表者)

各社70～80である。

(委員)

個人研究等の例示数が多い教科書会社があるが、多い方がよいのか。また、どのように使われるのか。

音楽（一般）	<p>(専門員代表者) 多い方がそれだけ生徒に例示することができる。足りなければ教員が例示するので、少ないからよくないというものでもない。活用法は、夏休みの研究であったり、発展的な内容として子どもたちに示していく。</p> <p>(委員) 分野によって配列が違うのはどうということか。</p> <p>(専門員代表者) 教科書に並んでいる順番で学習するわけではないので問題ない。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 音楽の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 音楽(一般)について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) はじめに、教育出版の「中学音楽 音楽のおくりもの」について説明します。 学習指導要領に基づく3つの柱「音楽の要素を捉えながら」「様々な音楽文化」「歌いあわせ、聴き深める喜び」が設定され、各題材がその3つのどれかに位置づけられ、音楽を愛好する心情の育成、感性を豊かにする教材や解説が示されています。 基礎的基本的な知識技能の習得の工夫では、「Let's Sing!」で発声について、「どんな特徴があるかな?」のコーナーで、音楽を形作っている要素を感受して言葉で説明するなど工夫されています。思考力・判断力・表現力では、「吹き出し」に質問や助言が示され、知覚感受を記載できる工夫がされています。鑑賞教材では「自分の考えを述べる」や「比較してよさや美しさなどを考える」など、音楽の価値への考え、批評を記入する工夫があります。学習への主体的な態度の育成では、各教材に目標とする学習内容が示され、「Let's Try!」「伝えてみよう」「音のスケッチ」コーナーで育成できるよう構成されています。 音楽活動の基礎的な能力の育成・工夫では、各教材のページ左側に目標、共通事項と結びついた活動のポイントが示され、系統的・発展的な学習に構成されています。歌唱共通教材「日本の歌みんなの歌」では「A Message for you」では作者の思いや意図を示し「歌のアルバム」では発達段階に応じた合唱曲が掲載されています。創作「音のスケッチ」でも段階的な手順が示されて教材が選択されています。 音楽文化についての理解を深めさせる工夫では、「ポピュラー音楽図鑑」「日本と西洋の音楽の歩み」「肖像でみる音楽年表」等、多様な音楽への理解を深</p>
--------	---

める工夫がされています。また、雅楽、歌舞伎、能等、我が国の伝統芸能について、一部を演奏したり体験したりする場面が設けられ、表現と鑑賞の関連を図る工夫が見られます。

資料では、「音楽著作権とインターネット」「アウトリーチ・教育活動・音楽療法」等、多面的な角度からの学習が工夫されています。表記・表現では吹き出しで、キャラクターが語る説明方法になっています。総括としては、豊富な教材が掲載されワーク的な要素を多く取り入れた構成と言えます。

次に、教育芸術社の「中学生の音楽」について説明します。

学習指導要領に沿った題材の目標や指導事項が「音楽学習 MAP」としてまとめられ、アイコンで共通事項が示され学習内容が明確で、音楽を愛好する心情の育成、感性を豊かにする教材や解説がされています。

基礎的基本的な知識技能の習得の工夫では、「ビンゴゲーム」「リズムゲーム」を設け、音符や休符、記号について繰り返し学習できるよう工夫されています。「マイボイス」では発声、「指揮をしてみよう」では表現の工夫の解説があり発達段階に応じて習得できるよう工夫されています。

思考力、判断力、表現力では、活動のヒントとなる吹き出し、「チャレンジ！」では豊かな感性を育む補足的な学習が用意されています。「ここが分かればグレードアップ」のコーナーや創作などのワークシートでは、共通事項と関連させて思考判断する場面を設け、表現の工夫がされています。学習への主体的な態度の育成では、各教材への学習の目標とそのため学習活動の手順、「学習の窓口」、吹き出し等、主体的な態度の育成を図る工夫がされています。

音楽活動の基礎的な能力の育成・工夫では、共通事項を「学習の窓口」としてマークで示し「ここが分かればグレードアップ」では段階的に基礎的能力が身につくよう工夫されています。歌唱共通教材「心の歌」では作者の思いや意図を示し、「心通う合唱」では発達段階に応じた合唱曲が掲載されています。我が国の伝統的な歌唱では、民謡、長唄、能の特徴や留意点、音の高低がわかる絵譜を示し体験できるよう工夫されています。創作「マイメロディ」「レッツクリエイト」では簡潔な手順を示し、ワークシートを活用し段階的な学習が工夫されています。

音楽文化についての理解を深めさせる工夫では、我が国や世界の音楽文化の音楽の特徴や良さ、多様性を感じ取るため、西洋音楽史を日本の歴史から捉えるコーナーや聞くポイントが示されています。民謡、長唄、能を系統的発展的に取り上げ、表現と鑑賞の一体化を図る教材が選択されています。また、世代を超えて日本の音楽文化を共有できる「心の歌」「歌い継ごう日本の歌」が掲載されています。

資料では、「国境を越えて影響しあう音楽」「ルールを守って音楽を楽しもう」等多面的な角度からの学習が工夫されています。表記・表現では、学習事項が目に入りやすいようにすっきりとしたデザインになっています。総括としては、基礎的基本的な学習の習得のための精選された教材を中心とした構成と言えます。

[議長]

説明 ご苦労様でした。

ただ今の説明につきまして、御質問・御意見はありますか。

音楽（器楽合奏）	<p>(委員) 創造的音楽学習については特徴はどうなっているか。</p>
	<p>(専門員代表者) 教育出版は発展的に工夫していける。教育芸術社は基本的なところから学習である。</p>
	<p>(委員) 和楽器の扱いはどうか。</p>
	<p>(専門員代表者) 取り扱っている楽器の種類は同じである。</p>
	<p>(委員) 国歌の扱いはどうか。</p>
	<p>(専門員代表者) 内容的には歌詞の意味など同じである。ただページ数が違う。</p>
	<p>(委員) 合唱曲の数が違っているがどういうことか。</p>
	<p>(専門員代表者) 基本的には、音楽は週 1 時間なので、どう扱うかが問題である。基礎的基本的な学習の習得のための精選されているのが教育芸術社で、多様な曲が載っているのが教育出版である。</p>
	<p>(委員) 総括にワーク的な要素を多く取り入れたと構成とあるがどういうことか。</p>
	<p>(専門員代表者) 両方、ワーク的な要素があるが、教育芸術社は創作にワーク的な要素が多く、教育出版は全体的に多い。</p>
<p>[議長] 続きまして、音楽(器楽合奏)について説明をお願いします。</p>	
<p>(専門員代表者) はじめに、教育出版の「中学器楽 音楽のおくりもの」について説明します。 基礎を身につける「演奏の仕方を身につけよう」とその基礎力を基盤とした「合わせて演奏しよう」のアンサンブルが掲載され、音楽を愛好する心情を育て基礎的な能力を伸ばす様々な奏法が示されています。また、リコーダーやギター、5種類の和楽器や打楽器を取り上げ、我が国や諸外国の音楽に触れるよう構成されています。</p>	

基礎的基本的な知識技能の習得の工夫では、「演奏の仕方を身につけよう」で複数の角度から奏法が示されるとともに、各楽器の構造や各部の名称が説明されています。思考力、判断力、表現力の育成工夫では、各楽器の「演奏のポイント」が示され、「合わせて演奏しよう」では様々な編成が示され表現力を深める工夫がされています。

主体的な学習態度を養う工夫では、「Let' try」において楽器やパートを選択でき、様々なアンサンブルに対応できるよう工夫され、「音のスケッチ」では主体的な活動のための手順が示されています。

音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫では、各教材に共通事項を踏まえた課題が示され、リコーダーの新出運指がページ横に掲載され、ギターの運指もキーボードの音程と同時に確認できるよう工夫されています。また、リコーダーの楽曲は、SR 同士のアンサンブルや A、S のどちらでも学習できるように工夫されています。各楽器とも時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルから選択されています。楽曲の難易度も「Let's play」から「Let' try」に吟味され、個に応じた指導に対応できるよう工夫されています。音楽文化についての理解を深める工夫では、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八が取り上げられ、和楽器を扱ったアンサンブルも掲載されています。

資料では、「リコーダーの運指表」「ギターとキーボードのコード」が一緒に示され、キーボードには鍵盤が示される工夫がされています。表記・表現では、和楽器における五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されています。総括としては、「名曲旋律集」が掲載され、リコーダー16、ギター、箏10、三味線8、尺八2の掲載があり、発展的な学習ができる構成となっています。

次に、教育芸術社の「中学生の器楽」の説明をします。学習指導要領の示す共通事項と関連のあるアイコンが「音楽学習 MAP」で明示され、各教材の学習目標や取組窓口となっており、音楽を愛好する心情を育て基礎的な能力を伸ばす様々な奏法が示されています。また、リコーダーやギター、5種類の和楽器、12種類の打楽器を取り上げ、我が国や諸外国の音楽に触れるよう構成されています。

基礎的基本的な知識技能の習得の工夫では、複数の角度からの奏法などが示され、短い曲の積み重ねにより習得できるよう構成が工夫されています。

思考力・判断力・表現力の育成工夫では、活動のヒントとなる「演奏のポイント」「音を聴いて確かめよう」「ここがわかればグレードアップ」や「アンサンブルセミナー」が示され、思考力、判断力、表現力を育成する構成となっています。主体的な学習態度を養う工夫では「楽器を知ろう」「Q&A」「音を聴いて確かめよう」「和楽器こぼれ話」「演奏のポイント」「練習のポイント」が掲載され主体的な態度を養う工夫がされています。

音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫では、各楽器とも平易な練習曲から進められ難易度の吟味により個に応じた指導に対応できる構成となっています。「音を聴いて確かめよう」では「音色」からその特徴を理解し「アンサンブルセミナー」等では学習目標が示され「ここがわかれば Grade up」で目標達成するための手順が示されています。また、「マイ

美術	<p>メロディ」では箏や打楽器による創作に取り組む教材が配置されています。音楽文化についての理解を深める工夫では、5種類の和楽器を取り上げ奏法に限らず、姿勢や礼儀等も説明されています。「調べてみよう」では自分たちの地域などの音楽の紹介も示されています。</p> <p>資料では、「リコーダーの運指表」「ギターのコードダイアグラム一覧表」「音楽の約束」「日本の伝統音楽の楽器編成」が掲載されています。表記・表現では、和楽器における五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されています。総括としては、「名曲スケッチ」が掲載され、リコーダー13、ギター8、三味線8、太鼓、打楽器4、篠笛、尺八2の掲載があり、適正な割合の構成となっています。</p> <p>以上で器楽の説明を終わります。ありがとうございました。</p> <p>[議長] 説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。</p> <p>(委員) 打楽器数の差があるが、子どもへの影響はどうか。</p> <p>(専門員代表者) 指導者が教科書をどう使用するかが重要である。主体的に学習するにはたくさん種類があるといいが、小学校からのつながりを考えると、初めて触れるわけではないので、少なくとも問題はない。</p> <p>(委員) 一般と器楽の教科書が違っても問題はないか。</p> <p>(専門員代表者) 同じほうが、教科書の見方に慣れているが、違っても問題はない。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 美術の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 美術について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) これから、3社の中学校 美術の教科書について説明いたします。短い時間の中で、各社の特徴が分かるよう、内容、資料、表記・表</p>
----	--

現、総括について、ポイントを絞って説明させていただきます。最初に開隆堂出版です。

内容について、各題材の中で、基礎的な技法や知識に関する部分に「マーク」を使用し、各題材のポイントが理解できるよう工夫しています。美術科で大切な「感性」を育てるために、多様な作品例や生徒の制作活動の様子を基に、生徒が自ら発想や構想を生かせる題材を設定しています。

鑑賞題材を見開きにするなどして、鑑賞のきっかけとなる「問いかけのマーク」を分かりやすく示しています。鑑賞にかかわるページを通して、美術文化について親しみやすく、理解を深め、豊かな情操を養うように工夫しています。

「学習の目的」と「学習の振り返り」を示して、各題材の学習展開が分かりやすく、生徒が活動する時のヒントを「囲み記事」で掲載しています。学校行事に関する作品が多く掲載され、美術を身近に感じ、主体的に取り組むよう工夫しています。「鑑賞のきっかけになる問い」や「知識や情報」がマークで示されていて、発想や構想の能力を養うことができるよう工夫しています。

歴史的なものから現代までの作品を幅広く取り上げていて、作品とともに作者の言葉も掲載し、美術作品を理解しやすいようになっています。絵巻物の鑑賞では、流れに沿って絵巻物の学習ができるよう掲載しています。

資料について、「原寸大ギャラリー」として、実物に近い大きさで、見て感じとることのできる資料となっています。

巻末に色彩理論や年表（歴史の中の人物画で美術の流れを構成）などを資料として掲載しています。各題材ごとに必要な技法を分かりやすく示しています。

表現・表記について、各題材名の「ねらい」を掲載し、色、マーク等が統一され、どんな内容を学習するのかを視覚的に分かりやすく掲載しています。「学習の振り返り」を観点別に示し、鑑賞のきっかけとなる「問いかけ」や「安全に注意」に関する内容を色分けしています。

総括、中学生の発達の段階に沿った系統的な題材で構成しています。各題材の中で表現と鑑賞を関連させながら学習できるように工夫しています。

各題材ごとに「学習の振り返り」があることで、生徒自身が、どのような活動をしながらかんできたか、どのような力がついたのかを確認できるよう示しています。生徒の内面に重点を置いた題材を設定し、生徒作品には作者の言葉を掲載しています。生徒が親しみやすい内容となっています。「学習の振り返り」は、観点別になっており、生徒の自己評価や授業評価に生かせる内容となっています。

続いて、光村図書の報告をさせていただきます。

内容について、小中の連携を重視した学びの連続性を大切にして構成されています。感性を豊かにするために日常で実際に飾ったり、使ったりする例を扱った題材を設定しています。

各題材の中で、たくさんの「マーク（10項目）」を使用し、各題

材のポイントが理解できるよう工夫しています。特に、巻末へのリンクするマークは、資料を有効に活用できるよう工夫しています。

生徒一人一人が自分の作品づくりのイメージをつかめる「発想や構想のヒント」を示し、創造的な造形活動を展開できるよう工夫しています。また、多様な素材や表現方法を追求できるよう構成してあり、中学生が学習する技法に関しても、系統的に題材を配列し、生き生きとした造形活動が展開できるよう工夫しています。

授業で必要な技法や道具の扱い方を学習できるように、巻末の「学習を支える資料」を示し、生徒一人一人の表現意図に合った技法を習得し、生徒自らが考え、主体的に取り組めるように工夫しています。

資料について、原寸大で印刷された日本の伝統工芸品（螺鈿：らでん）等、生徒の興味・関心を高める鑑賞のページを工夫しています。歴史的なものから現代の作品まで、バランス良く取り上げています。作品とともに作者の言葉も掲載されており、鑑賞の授業を単独で実践できるよう工夫しています。

巻末に生徒一人一人の学習を支える技法等の資料を掲載しており、「トピックス美術史」では、美術と世界史をリンクさせて構成し、見やすい工夫をしています。

表現・表記について、生徒に必ず身に付けさせたい力やねらいを10の項目のマークで表し、視覚的に分かりやすく掲載しています。各題材の目標と〔共通事項〕に関連するもの示し、学習の評価を明確にしています。

「道徳」との関連性を持たせ、日本美術のよさや美しさを感じ取ることができるよう工夫しています。

総括、題材を「表現と鑑賞」に分け、それぞれに日常の生活で目に触れる機会が多くあるデザインされた用具や美術作品（伝統工芸品など）の図版を見やすく構成しています。

生徒の発達の段階に合わせた主体的な造形活動を促すために、10項目のマークを用いて各題材の学習のポイントを示しています。また、道徳の学習との関連性を持たせ、鑑賞の授業に役立つものとなっています。

3年間を見通した構成になっており、題材に必要な技法や材料に関して、日本の伝統文化のよさ、美術と社会、自然と美術のかかわりを示す図を巻末に掲載しています。

最後に日本文教出版について報告させていただきます。

内容について、感性を豊かにするために「自分と他者」「生活と社会」「自然と環境」をテーマとして題材を設定し、学習を深めていく構成となっています。原寸大の作品を掲載したり、見開きや紙質を変えたりして、日本の美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うよう工夫しています。

各題材の中で制作過程が分かるような図版やアイデアスケッチ、生徒作品を豊富に掲載しています。特に巻末には、生徒一人一人に基礎的・基本的な用具の扱い方や造形的な能力を身に付けさせる工夫をしています。

各題材に「学びのねらい」が示してあり、作品を制作することで身

に付く力を確認し、思考力・判断力・表現力を育成する工夫をしています。また、学習の手立てとなる「ポイント」をマークで示し、生徒一人一人が意欲的に造形活動に取り組む態度を養うよう工夫しています。

「鑑賞の出会い」は、日本の美術文化への関心を高めるページを工夫しています。特に見開きの葛飾北斎の版画作品は、紙質を変えた鑑賞資料となっています。

資料について、工芸デザイナーの言葉から身の回りのものをデザインすることの面白さ、大切さを理解することができ、生徒自身の生活の中からデザインする「よさ」を発見することができる資料となっています。

2・3下の巻末に卒業する3年生に向けた「あなたへ」という詩を掲載し、卒業後も社会で美術文化に興味・関心を持つようなメッセージを掲載しています。

表現・表記について、学習の手立てとなる内容を題材ごとに「ポイント」のマークで示し、学習内容の大切な部分を分かりやすくしています。

題材名の下に副題を示すとともに、学習のねらいを観点別に掲載しています。道徳の学習と関連する資料を示し、鑑賞授業との関連を図っています。

総括、生徒の発達の段階に合わせた主体的な学習活動を促すために、8項目のマークを使い、学習のポイントや注意事項を示しています。生徒が自己の3年間の成長が確認できるよう、「自分—他者—社会」といった広がりのある題材設定を示しています。

道徳の学習と関連する内容を示したり、日本の伝統文化、美術と社会、自然とのかかわりを見開きの資料や紙質を変えた資料を効果的に構成し、掲載しています。

歴史的なものから現代の作品までバランスよく取り上げています。美術史の年表には、日本と中国の関連性も分かりやすく示してあります。

(委員)

原寸大で鑑賞するとはどういうことか。教科書の大きさは決まっているが。

(専門員代表者)

螺鈿の一部を原寸大で載せている。物差しも教科書に載っていて鑑賞できる。原寸大を体感させることは大事である。

(委員)

道徳との関連とはどういうことか。具体的に教えてほしい。

(専門員代表者)

主に鑑賞の題材で、たとえば、東山魁夷の一本の道を鑑賞して、遠くまで延びている道から、自分の将来をイメージさせて考えるというようなところで道徳の資料として活用できるのではないか。

保健体育	<p>(委員) 表現と鑑賞は、ある教科書は区別しないで関連させているが、分けて独立させて学習するのとどちらがよいのか。</p> <p>(専門員代表者) 学習指導要領で鑑賞は、独立して扱うとある。また、表現と鑑賞は一体であるということも学習指導要領にある。題材によって独立と関連させるのと、混在している方がよい学びができる。</p> <p>(委員) 日文はデザインを取り上げているが、学習指導要領ではどのように位置付けられているか。</p> <p>(専門員代表者) 3社とも、生活の中のデザイン、ユニバーサルデザインなど、デザインについて扱っている。</p> <p>(委員) 小中連携を重視した学びの連続性とあるがどうか。</p> <p>(専門員代表者) 題材と題材体験の連続性は各社ともある。各社とも小学校で経験したことを、中学校に生かしている。</p> <p>(委員) 生徒の作品数の違いはどうか。</p> <p>(専門員代表者) 生徒のアイデアスケッチ等があると指導しやすく、子ども自身が自分で考えて製作に入れる。</p> <p>[議長] 説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 保健の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p>
------	--

[議長]

保健について説明をお願いします。

(専門員代表者)

保健体育科の調査研究の結果を報告いたします。

保健体育の教科書については、「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「学研」の4社から発行されています。それぞれの教科書について説明いたします。

最初に、東京書籍です。教科書の配列が学年別に構成されています。学年別の構成にすることで、学習内容が明確になり、学習の見通しがもてるように工夫されています。

内容については、各章のとびらには、この章で学習する内容が明記されており、学習の道筋が見える構成となっています。また、小・中・高の系統性も記されています。

1単位時間の流れについては、「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう」「生かそう」といった一連の流れで理解を深められる構成となっています。章末には、知識の習得を確認する「確認の問題」と、知識を活用して考える「活用の問題」が設けられています。

資料については学習内容の理解が深まるよう豊富な資料があり、写真とイラストも効果的に配置されています。特に、「読み物」という項目を各所に設け、生徒の興味関心を高め、学習内容を深める工夫がされています。

表記・表現については、他教科とのつながりを表示する「他教科マーク」や他ページとのつながりを表示する「リンクマーク」により学習のつながりが明示されています。

次に、大日本図書です。教科書は、保健編、体育編それぞれの領域ごとの配列となっています。ワイドな見開き構成となっており、本文と資料がバランスよく配置されています。

内容については、各章の最初には、その章での見通しと学習課題がもてるように、学習の流れが示されています。

1単位時間については、「学習課題」、「考えよう」、「本文・資料」、「学習を活かして」という流れで構成されています。終末には、重要な用語が「キーワード」として示され、学習内容の習得の確認ができるようになっています。

各章末には、「重要な言葉」と「学習の要点」がまとめられており、学習内容の整理に役立てることができます。また、章末資料の「トピックスプラス」には、資料が豊富に掲載されており、学習した内容の理解を確実なものとするための工夫がされています。

資料については、学習内容をより深める「ミニ知識」や生徒の興味関心を高める「トピックス」が設けられています。

表記・表現については、「リンク」において体育編・保健編の関連するページを示し、横断的な学習をするように工夫されています。

次に、大修館書店です。教科書は、保健編、体育編それぞれの領域ごとの配列となっています。「この教科書の使い方」のページを開くと、矢印や吹き出しを使いながら、マークの意味などが丁寧に説明されています。

内容については、章のとびらには、その章の内容に関連する写真や「問い」が示されており、これから学ぶ内容の大まかな流れをつかむことができるように

工夫されています。

1単位時間については、「クエスチョン」、「本文・資料」、「トライ」という流れで構成されています。また、重点項目については、4ページ構成となっており、終末には実際に書くことで学びを深めるための「チャレンジ」を設けています。章末には、学習の振り返りを行ったり、学んだことを生かしたり、広げたりするための学習のまとめのページがあります。

資料については、各所に「トピック」や「コラム」が設けられており、学習した内容を将来の生活や実生活に活かすことができるよう工夫されています。

表記・表現については、本文部分に薄黄色の下地を敷いたり、資料から読み取ってほしいポイントを吹き出しに示したりするなどの工夫があります。

最後に、学研です。

教科書は、保健編、体育編それぞれの領域ごとの配列となっています。B5版の紙面の中に図やグラフなど豊富な資料がコンパクトに配置されています。

内容については、章のとびらには、学習に関連のある写真やメッセージにより、学習する内容が示されています。また、小・中・高の系統性についても示されています。

1単位時間については、「学習目標」、「ウォームアップ」、「エクササイズ」「活用しよう」という流れで構成されており、主体的に学習に取り組める発問、演習、まとめにより、学習内容の理解が深まるよう工夫されています。章末には、学習内容を確認するための問題が設けられており、関連ページについても記されています。

資料については、各所に学習内容に関連した読み物資料の「コラム」が設けられており、生徒が学習内容をより身近なものに感じられるような工夫をしています。

表記・表現については、用語解説や関連情報などがそのページの中に記されていたり、本文と資料をリンクさせるために、本文中に資料番号が記されていたりするなど、学習内容の定着を図るための工夫がされています。

保健体育科の調査研究の結果報告は以上です。

[議長]

説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。

(委員)

武道の扱いについて違いはあるか。安全面の配慮はあるか。

(専門員代表者)

取扱いについては大きな違いはない。安全面についても文量に多少の違いはあるが、各社で配慮がなされている。

(委員)

生活習慣病のあつかいについて差はあるか。

(専門員代表者)

アルコール、喫煙、薬物乱用の害についてはすべての会社で取り扱っており

	<p>大きな違いはない。がん予防について1社が1頁にわたり扱っている。</p> <p>(委員) AED、心肺蘇生の扱いについてはどうか。</p> <p>(専門員代表者) AEDについては、東書、大修館が写真を載せて実習ができるよう手順を詳しく載せている。心肺蘇生法はすべての教科書会社で触れている。</p> <p>(委員) 大日本は、県の調査の報告書によると、「健康な生活と病気の予防」についてのページ数が少ないようだが理由はあるのか。がん予防はすべての教科書会社を取り扱っているか。</p> <p>(専門員代表者) ページ等も含めた量に違いはあるが、学習内容に差はない。がん予防についてはすべての教科書で扱っているが、1頁にわたって扱っているのが学研であった。</p> <p>(委員) ウォーミングアップについて教科書に書かれているか。</p> <p>(専門員代表者) ウォーミングアップの具体的な仕方については記載されていないが、その必要性についてはすべての会社が触れている。</p> <p>(委員) 人工呼吸(マウス トゥー マウス)はやらなくてもよいという記述はあるか。</p> <p>(専門員代表者) 4社とも書いていない。</p> <p>(委員) 感染症との関連は書いてあるか。</p> <p>(専門員代表者) 具体的な感染症との関連は書いていない。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] それでは、ここで休憩をとります。技術家庭(技術分野)の開始時間は、14:20とします。</p>
--	--

技術	<p>[議長] 技術・家庭(技術分野)の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 技術分野について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者)</p> <p>それでは、東京書籍の技術分野の教科書について、報告させていただきます。本教科書の構成は、基礎的・基本的な学習内容から、実践的・発展的な学習内容までの学習目的や生活と技術のつながりが明確に示され、その内容が様々な分野にわたり広く示され、総合的に学習指導要領における教科目標に迫ることのできるものになっています。</p> <p>内容的には、各題材ごとに「目標」「始めの活動」「まとめの活動」等が示され、題材ごとの学習について、自らの学習状況を考えながら統一されたフォーマットにより、機能的な学習を展開することができるようになっております。</p> <p>表示やマークにおいても創意工夫がなされ、既習内容の復習を進めやすくする「小学校での学習内容の振り返り」、ものづくりをより学びやすくさせる「ものづくり手順」「基礎技能」、主体的な学習を促進する「考えてみよう」「調べてみよう」「生活に生かそう」「まとめをしよう」等、生徒自らが教科書をひもときながら課題解決を図る機能的で整理された工夫がなされている。</p> <p>また、教科書全体のデザインが大きく変わり、教科書の版のサイズがAB版を使用したものとなっている。それにより、他社のものより横幅が多少大きくなり、インデックスの工夫やより見やすい図表、写真の掲載等、デザイン的な工夫がなされいます。</p> <p>大きな資料として、本末に付録的な『防災手帳』が添付されています。切り取って使用し、ハンドブック的に日常の家庭生活の中で活用できるものであり、技術と防災とのかかわりを考えながら、実生活で生きて働く資料となっています。</p> <p>他にも、技術への興味・関心の向上を図る「ひとくちQ&A」の工夫。身近な生活における危機管理を意識させる「安全」「衛生」「情報モラル」「技術の天びん」の表示。発展的学習や伝統文化の理解を深めるための「技術の匠」等、生徒の主体的学習を深め、現代的課題に迫る工夫がなされている。</p> <p>最後に本教科書全体について端的にまとめさせていただきます。各内容で「目標」から「まとめよう」まで、統一された構成がなされ、生徒が自分自身の見通しを持ちながら、主体的に学習できる内容になっている。「学習のまとめ」が機能し、基礎的な理解を深め生徒が主体的に評価し振り返る学習を重要視している。などがあげられます。この様な事を総合し、本教科書は、図表や写真等の構成が工夫され、指導内容を総合的に示し、幅広く技術の能力を得ることができる構成となっています。</p> <p>次に、教育図書の技術分野の教科書について、報告させていただきます。本教科書の構成は、ものづくりの製作題材を多く掲載し、実習を主体とした学習活動の中心的に構成することで、生徒の興味・関心を喚起しながら、基礎・基本の充実を図ることのできる構成になっています。</p> <p>内容的には各製作題材を共通化されたフォーマットで示し、「学習の目標」「ま</p>
----	--

とめ」「章末問題」の流れにそって、実践的な活動を通して学ぶことができるようなものとなっています。

また、数多く示されている、製作を中心とした実践的・体験的活動の事例を通して、身近な生活と技術のかかわりを考え、生活に生きる学習活動に取り組むことができるようになっております。そして、ものづくりをフォローする写真や図、表なども、多様なものを丁寧に説明されており、製作工程ごとの作業方法や製作品のイメージがもちやすく、主体的な学習に繋げやすい内容にもなっています。

「基礎技能」「基礎技能・知識」の表示により、より深いものづくりについて、基礎技能の習得や機器の安全な利用をについて活動の中から学ぶことができる構成になっていることも、特徴的な内容であります。

それ以外についても、ものづくりに対する構成要素がたいへん充実し、「実験」「実習」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」のわかりやすいフォーマットにより、実践的・体験的学習を展開しやすくなっています。

また、「何を学ぶか？」の表示によるガイダンスの機能の充実、とにかく豊富なものづくり作成事例の提示、わかりやすく大判で表示された図表、写真、資料の提示等、内容的にもビジュアル的にも専門性の高い創意工夫がなされています。

最後に本教科書全体について、端的にまとめさせていただきます。まずは、製作題材を多く掲載し、ものづくりの工程に対し、生徒が見通しを立て主体的に活動を進めることができる構成になっている。技術と生活や社会とのつながりを重視し、身近な課題やものづくりを通して、基礎的・基本的な知識、技能を学ぶことができる。安全な作業に関わる内容が、製作工程の中にちりばめられ、実践形式の中で学ぶことができる、などがあげられます。この様な内容を総合し、本教科書は、ものづくりが充実した専門性の高い構成の教科書となっています。

最後に、開隆堂の技術分野の教科書について、報告させていただきます。本教科書の特徴的構成は、学習目標が明確に示され、参考資料や実験例が豊富に掲載されていることにより、基礎的・基本的な内容を中心に生徒自身が主体的に学習でき、興味・関心を深めながら、学習指導要領の教科目標に迫ることができることにごさいます。内容全体においても、基礎的・基本的な知識・技能を広く深く網羅し、技術における主体的に工夫し創造する能力や、実践的な態度をはぐくみつつ、生きる力を育成する内容になっております。

特に「考えよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」等の見出しの工夫により、生徒が主体的に学習に取り組みつつ、実践的・体験的な学習活動により、課題解決を図ることができる内容になっております。

また、「参考」「リンク」「探求」「豆知識」等の多くの資料を活用しながら、知識や技能の幅を広げ、自らの課題に伴った課題解決学習に主体的に取り組むことができる構成にもなっております。

他にも、「ガイダンスの機能を示すページが充実による、興味・関心の深化」「身近な生活場面に接続した豊富な例示による、生活と結び付けた学習の充実」「ふり返りによる生活に活かすことのできる学習内容の自己評価」「評価・活用ページによる知識・技能の評価の充実」「循環型社会や持続可能な社会のイメージの明確化」等、様々な内容において、そのわかりやすさや理解を深めるための創意工夫がなされています。

最後に本教科書全体の構成について、端的にまとめさせていただきます。各

内容で「学習の目標」から「ふり返り」まで、まとまった構成がなされ、生徒が自分自身の見通しを持ちながら、主体的に学習できるようになっている。見出しや、マーク、表示等の工夫により、自らの課題解決学習や発展的学習が展開しやすくなっている。安全に関わる内容等が、その表示や表記の工夫により、実践場面と接続しながら展開されている。章末のふり返りの活用による、評価の充実を図ることができる。などがあげられます。このような事を総合し、本教科書は、基礎的・基本的内容を、生徒の興味・関心により広く・深く学習することのできるベーシックな構成となっています。

[議長]

説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。

(委員)

技術分野と家庭分野は同じ会社のほうが良いのか。

(専門員代表者)

各社とも学習内容は同じなので問題はない。課題を解決するフォーマットが会社で違うので、生徒が学習しやすいという点では同じ方が良い。

(委員)

情報通信ネットワークモラルの違いは各社どうか。

(専門員代表者)

文量に違いはないが、東書は当事者を中心とした視点、教育図書は社会的な広い視点、開隆堂は生徒と企業など2つの視点で書かれているという印象を受けた。

(委員)

望ましいのはどれか。

(専門員代表者)

どれが正しいということはない。

(委員)

作る作品に差はないのか。

(専門員代表者)

取り上げる作品の例示の数、表現の仕方は多少違う。

[議長]

以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。

<p>家庭</p>	<p>[議長] 技術・家庭(家庭分野)の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 家庭分野について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) 技術・家庭科、家庭分野の専門員を代表して、調査研究の報告をいたします。技術・家庭科、家庭分野では、3社について、調査研究を行いました。その結果につきましては、県から示された調査資料の様式にそってまとめました。お手元の報告書の通りです。</p> <p>それでは、「東京書籍」について調査研究結果をご報告申し上げます。</p> <p>配列につきましては、ガイダンス、内容B(食生活と自立)、内容C(衣生活・住生活と自立)、内容A(家族・家庭と子どもの成長)、内容D(身近な消費生活と環境)、終末には「生活の課題と実践」の順で掲載しています。</p> <p>巻頭には、教科書の使い方や家庭分野のガイダンスも充実した内容で掲載され、授業時数や目的に合わせて、選択して活用することができるようになっています。</p> <p>また、多様な学習計画に対応できるよう、写真やイラスト・図表・実習例など、豊富に掲載されています。特に、A家族・家庭と子どもの成長では、「幼児の靴や箸」、B食生活と自立では「目ばかり手ばかり」が実物大で扱われており、さらに分量が分かりやすく、食品を手へのせてはかる様子も載っており、実感を持って学べるようになっています。</p> <p>「基礎技能」のページは、実習や生活の中で必要な基礎的・基本的な技能をまとめ、いつでも確認できるよう、検索性を高め、技能の定着が図られるように構成されています。</p> <p>系統的、教科横断的な学びも分かりやすく、小学校マーク、中学校技術・家庭科における「リンクマーク」、他教科との関連マークなどを掲載し、家庭分野の学習をより深め、広げることができるよう工夫されています。</p> <p>次に「教育図書」について調査研究結果をご報告申し上げます。</p> <p>配列につきましては、ガイダンス、内容A(家族・家庭と子どもの成長)、内容B(食生活と自立)、内容C(衣生活・住生活と自立)、内容D(身近な消費生活と環境)、そして「生活の課題と実践」を各内容の後に掲載しています。</p> <p>それぞれの地域や学校での多様な指導計画に対応出来るよう、写真や図、イラストなど、資料を豊富に掲載しています。クエッション・考えよう・やってみよう・話し合おうなど、多種類の実習や活動があり、自分自身で考えたり、グループで話し合ったり、体験したり、実習を行ったりしながら、主体的に学習を進めることのできる構成になっています。</p> <p>特色のひとつとして、各章の題材の導入では「自立度チェック」や実生活に結びつく「クイズ」が掲載されており、関心・意欲を高める工夫となっています。また、小題材の「キーワードチェック」欄・内容ごとの「学習のふり返し」のページなど、生活に必要な知識や技術を身に付けたか自分自身で確認することもで</p>
-----------	---

き、問題解決的な学習の流れを意識した構成になっています。

その他、「小学校の復習」や「実習を安全に行うための注意事項」、「持続可能な社会のための環境にかかわる事柄」などに分かりやすいマークをつけています。

次に「開隆堂」について調査研究結果をご報告申し上げます。

配列につきましては、ガイダンス、内容A(家族・家庭と子どもの成長)、内容B(食生活と自立)、内容C(衣生活・住生活と自立)、内容D(身近な消費生活と環境)、終末には「生活の課題と実践」の順に掲載されています。

小題材ごとに「学習の目標」、「導入課題・基礎学習」、「参考・探究・発展学習」、「ふり返り」という流れに沿った構成になっています。巻末に「言語活動の充実のために」という、言語活動の進め方についてのプロセスのページも掲載され、問題解決的な学習への流れを意識した構成となっています。

特色のひとつとして、「持続可能な社会をつくる」があります。ガイダンスから全ての内容A～Cにおいて、中学生が身近に実践できそうな環境問題の項目を取り上げ、様々な資料の掲載をしています。環境教育・消費者教育を重視し、循環型社会・持続可能な社会における生活のあり方について、視野を広げる工夫がされています。

また、多様な職業の人から、中学生へのメッセージが多数あり、キャリア教育の視点にたった、これからの進路や職業を考えるヒントとなり、さらに家庭分野における関心や意欲にもつながっています。

中学生の実習場面や作品例、食品や幼児の手形の実物大の写真、作業の安全や衛生にも配慮したマークなどもわかりやすく掲載されています。

[議長]
説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。

(委員)
東京書籍の配列がB、C、A、Dとなっているがなぜか。

(専門員代表者)
東京書籍はアンケートを基に、発達段階を考えて構成している。他の会社は学習指導要領に従って構成している。

(委員)
東京書籍の幼児の生活と家族のページ数が多いのは。

(専門員代表者)
授業時間数を考えての構成になっている。

(委員)
家族の扱いについてはどうか。1人親家庭への配慮は。

(専門員代表者)
どの教科書でも配慮されている。将来、家族をもった時のことも見据えてい

英語	<p>る。</p> <p>(委員) キャリア教育と家庭科との結びつきは。</p> <p>(専門員代表者) 様々な職種からのコメントがあるのが特徴的である。</p> <p>(委員) 男女共同参画社会についての特徴は違いがあるか。</p> <p>(専門員代表者) 3社で違いはない。</p> <p>(委員) 教科書の大きさが、AB版とB版で使いやすさに違いがあるか。</p> <p>(専門員代表者) どちらも使いやすい。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 英語の専門員代表者を入室させてください。</p> <p>(専門員代表者自己紹介)</p> <p>[議長] 英語について説明をお願いします。</p> <p>(専門員代表者) 東京書籍 NEW HORIZON ENGLISH COURSE について説明します。 Unit「習得」、Daily Scene「活用」、Presentation「発信」の3部構成であり、繰り返し学習をすることで、基礎を確実に身に着け、4技能を総合的に育成することを目指しています。3年間を通して、多様な題材に触れることで、思考力、判断力を育て、自分の考えを伝える構成になっており、Unit のまとめの Presentation で発信型の課題に取り組むようになっています。データや絵を多く活用し、語彙や言語材料は運用度の高いものを活用しています。生徒が「自分の言葉として使う」活動が豊富に用意されています。練習のバリエーションが豊かで確実に定着できるよう工夫されている。1年生では、小学校英語の復習、中学校英語の導入の Hi, English!があり、小中連携を意識した構成になっています。 開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE について説明します。 Program、Power - up、My project の3部で構成されています。「慣れ親し</p>
----	---

みながら学習する」を基本とし、全体的に「音声」を重視した構成になっており、新しい文法の導入の際には、音声を重視した自然な会話 Basic Dialog でスタートする形式となっています。特に定期的に4技能を統合した活動ができる My Project は、生徒の段階に応じてすべての学年に用意されていて、学習内容がスパイラルに取り上げられるよう工夫されています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するためのペアワークも多く配置されています。さらにペアワークなどのアクティビティを行う際には、写真や絵が豊富に用いられ、生徒の興味関心を喚起しやすい構成になっています。

学校図書 TOTAL ENGLISH について説明します。

小学校における外国語活動との連携で、1年生では一般動詞から導入しています。2つの Lesson を1つの Chapter とし、4つの Chapter で成り立っています。Listening や Practice の量が多く、学んでいることの理解が図れてから、表現することに結び付け、達成感を味わわせる工夫がされている。最後に Writing をさせる活動においては、見開きでページを使用し、左のページにまず本文を載せ、右ページで練習をさせて、Listening, Speaking そして Writing につなげていく構成をとっています。また、英文の読み方について、発音がネイティブに近いリズムになるよう、音の強弱や音と音とのつながりを視覚的に意識させて学習させるコーナー Listen & Repeat があります。さらに、日本人には分かりづらい感覚を要する新出表現には、詳しく説明するなど、理解の手助けとなる工夫があります。

三省堂 NEW CROWN ENGLISH SERIES について説明します。

Lesson、Let's listen、Let's talk の3部構成であり、また各課ごとに とびら→GET→USE READ→USE SPEAK WRITE→文法のまとめと進みます。Part ごとには、Practice で Listen「聞く」、Speak「話す」、Write「書く」活動があり、基本的な4技能を習得できる活動が入っています。各課の始めに、学ぶ目標、Part ごとに学ぶポイントが提示され、課の終わりには、自主的に学ぶことのできるページがあります。また、学習しているページに、関連する内容、参考になる資料等をすぐに探せるよう、利用できるページが掲載されている。各課で学んだ事を統合的に学習できるよう Project があり、表現力の育成を図っています。活動の内容は絵でも示されており、発音記号は別色で表記されています。教科書全体に文字、配色の工夫がされています。

教育出版 ONE WORLD ENGLISH COURSE について説明します。

各学年3つの Unit で構成し、1つの Unit に3～4の Lesson があります。各レッスンは、HOP、STEP、JUMP で構成されていて、HOP では主に「聞く」「話す」「書く」を学習し、STEP では「読む」活動が意欲的に行えるよう構成されています。さらに JUMP ではすべてを統括した発展的な内容が盛り込まれ、順序立てて4技能を伸ばすことのできるスタイルになっています。本文には関連写真や説明が多く取り込まれています。文字の工夫、単語の配置が適切です。別冊「Essential」が附属されていて主体的に学習に取り組むことができます。すべての単元に目標が明確に設定されているために到達目標がわかりやすい構成になっています。

光村図書 COLUMBUS ENGLISH COURSE について説明します。

各 Unit は、本文、Try it(習得)、You can do it(活用)からなり、Go for it(自己表現活動)へとつながる構成になっており、4技能を総合的に使って、幅広く自己表現を体験できる構成になっています。「紹介する」「書いてまとめる」「報

	<p>告する」「意見を伝える」といったテーマ設定がなされており、活動しやすい4つのステップが設けられています。具体的なアドバイスが付記されているため、無理なく活動に取り組み、感想を述べたり、意見を聞いた後に再度自分の考えをまとめたりするなどのさらに進んだ活動も準備されていて、実際の使用場面や目的に応じた言葉の使い方を学ぶことができます。また、教科書本文に出てくる登場人物が生徒と等身大であるというのも特徴です。</p> <p>[議長] 説明 ご苦労様でした。ただ今の発表につきまして、御質問・御意見はありますか。</p> <p>(委員) 他の教科書は be 動詞から入っていて、トータルイングリッシュは一般動詞から入っているが違いはあるのか。</p> <p>(専門員代表者) かなり前からこのような構成になっている。これについては英語科においてもいろいろな議論があり、どちらがよいかははっきり言えない。</p> <p>(委員) 東京書籍は別冊がついているが。</p> <p>(専門員代表者) 別冊がついていなくてはいけないということはない。ただ、授業中に活用するには便利かもしれない。</p> <p>[議長] 以上で質疑を終了します。代表者の方は、ご苦労様でした。退出してください。</p> <p>[議長] 以上で全ての種目の報告が終わりました。</p> <p>[議長] 事務局から、その他の協議事項はありますか。</p> <p>(事務局) 特にありません。</p> <p>[議長] 以上をもちまして、議長の任を解かさせていただきます。大変、慎重なご審議ありがとうございました。</p> <p>(司会) 続いて、諸連絡に移ります。事務局よりお願いします。</p>
5 諸連絡	

6 閉 会	<p>(事務局) 連絡をさせていただきます。</p> <p>第3回採択協議会につきましては、7月27日(月)、ふじみ野市役所大井総合支所2Fゆめポルトで実施を予定しております。当日は、全日となります。よろしくお願いいたします。</p> <p>(司会)</p> <p>それでは、第10採択地区教科用図書採択協議会 第2回採択協議会を閉会します。皆様、長時間の会議ご苦勞様でした。</p>
-------	--